

1 議 事 日 程

[平成19年太宰府市議会 予算特別委員会]

平成19年3月2日

午前 11 時 15 分

於 全員協議会室

- 日程第1 議案第29号 平成19年度太宰府市一般会計予算について
日程第2 議案第30号 平成19年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について
日程第3 議案第31号 平成19年度太宰府市老人保健特別会計予算について
日程第4 議案第32号 平成19年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について
日程第5 議案第33号 平成19年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について
日程第6 議案第34号 平成19年度太宰府市公共用地先行取得事業特別会計予算について
日程第7 議案第35号 平成19年度太宰府市水道事業会計予算について
日程第8 議案第36号 平成19年度太宰府市下水道事業会計予算について

2 出席委員は次のとおりである（20名）

委員長	武藤哲志	議員	副委員長	小柳道枝	議員
委員	片井智鶴枝	議員	委員	力丸義行	議員
〃	後藤邦晴	議員	〃	橋本健	議員
〃	中林宗樹	議員	〃	門田直樹	議員
〃	不老光幸	議員	〃	渡邊美穂	議員
〃	大田勝義	議員	〃	安部啓治	議員
〃	山路一恵	議員	〃	清水章一	議員
〃	佐伯修	議員	〃	安部陽	議員
〃	田川武茂	議員	〃	福廣和美	議員
〃	岡部茂夫	議員	〃	村山弘行	議員

3 欠席委員は次のとおりである

なし

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（24名）

市長	佐藤善郎	収入役	松島幹彦
教育長	關敏治	総務部長	平島鉄信
総務部政策統括 担当部長	石橋正直	地域振興部長	松田幸夫
地域振興部地域コ ミュニティ推進担当部長	三笠哲生	市民生活部長	関岡勉
健康福祉部長	永田克人	健康福祉部子育て 支援担当部長	村尾昭子
建設部長	富田讓	上下水道部長	古川泰博
教育部長	松永栄人	監査委員事務局長	木村洋
総務課長	松島健二	政策推進課長	宮原仁

地域振興課長	大 藪 勝 一	まちづくり企画課長	神 原 稔
市 民 課 長	藤 幸二郎	福 祉 課 長	新 納 照 文
建 設 課 長	西 山 源 次	上 下 水 道 課 長	宮 原 勝 美
教 務 課 長	井 上 和 雄	財 政 課 財 務 係 長	平 田 良 富

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長	白 石 純 一	議 事 課 長	田 中 利 雄
書 記	花 田 敏 浩		

開会 午前11時15分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（武藤哲志委員） ただいまから予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会は各会計の概要説明とし、各委員からの質疑は3月19日及び20日に行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第29号 平成19年度太宰府市一般会計予算について

○委員長（武藤哲志委員） それでは、日程第1、議案第29号「平成19年度太宰府市一般会計予算について」説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（平島鉄信） 平成19年度の当初予算につきましては、統一地方選挙の年に当たりますことから、新規事業及び政策的事業を除いた骨格予算とさせていただきます。先ほど市長の説明があったとおりでございます。

予算編成の基本的な考え方といたしましては、限られた財源の中で施策制度の抜本的な見直しを行いまして、経費全般について徹底した節減合理化を図っておるところでございます。

それでは、お配りしております当初予算説明資料に沿って説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、説明資料をお出しいただきたいと思っております。

まず、1ページをおめくりください。総括表がございます。

一般会計の予算総額は182億2,754万5,000円でございます。前年度と比較しますと4億53万5,000円、率にいたしますと2.2%の減となっております。これは3年連続で減少という形になります。

次に、2ページの歳入についてご説明を申し上げます。

1款の市税につきましては総額77億7,924万8,000円を計上いたしておりまして、前年度と比較しますと5億2,639万4,000円、7.3%の大幅な伸びというふうになっております。

内訳については、6ページをおめくりいただきたいと思っております。

ここに税の内訳を記載しております。個人市民税が、所得税から市県民税への税源移譲が行われました。それともう一つ、定率減税の廃止によりまして、前年度より7億1,746万3,000円、23.9%の増が見込まれております。法人市民税も企業の収益改善が見られまして8,177万3,000円、19.5%の増を見込んでおります。

なお、固定資産税については平成18年度に比較しますと、本来は2.2%の増が見込まれるというふうに考えておりまして、骨格予算の財源調整がございまして、3億5,000万円ほど見込みより減額いたしております。当初予算といたしましては2億729万9,000円の減、6.7%の減といたしております。これは先ほど言いましたように、本来は2.2%の増が見込めますが、骨格予算で財源調整、要するに6月に補正で政策的な経費を上げますので、3億5,000万円ほど減額いたしております。

○委員長（武藤哲志委員） 総務部長、今6ページを説明いただいておりますが、当面のところ骨格予算として9.7%減額で、6月補正に3億5,000万円の増を考えているということでしょう。

○総務部長（平島鉄信） 失礼しました。そういうことでございます。数字はここに載せておりますように、2億8,203万6,000円の減額というふうにいたしております。

説明資料の2ページに戻ります。

2款の地方譲与税でございますけれども、国の三位一体の改革に伴いまして国県補助金の一部が市税に税源移譲されたことによりまして所得譲与税が廃止されました。そういうことによりまして2億3,709万5,000円、52.7%減少いたしております。

次に、地方特例交付金でありますけれども、これも恒久的な定率減税の完全廃止がなされました。そういうことによりまして、減税補てんの分がなくなりました関係で62.4%の減と、5,400万円といたしております、前年度より8,963万3,000円の減少を見込んでおります。

次に、10款の地方交付税でありますけれども、15.6%減の28億1,200万円と、前年度より5億1,800万円の減少を見込んでおります。内訳は普通交付税が4億5,800万円減の24億4,200万円、特別交付税が6,000万円減の3億7,000万円と見込んでおります。また、交付税の不足分を補てんする臨時財政対策債の発行は前年度より7,300万円減少で、普通交付税と臨時財政対策債を合わせますと、前年度より5億9,100万円の減少となっております。この辺の調整は、税源移譲の市税の関係の増額という形で埋め合わせるという形になると思います。

次に、14款国庫支出金につきましては、前年度より1億7,196万4,000円減の20億5,908万1,000円を見込んでおります。減額の主な理由は、税源移譲によります児童手当、児童扶養手当、国庫負担金の減少によるものでございます。これに関連いたしまして、15款の県支出金は児童手当、児童扶養手当分が増えてまいっております。

16款の財産収入、これについては市有地の売却予定があるため、前年度より1億1,111万7,000円増の1億4,982万4,000円計上いたしております。

18款の繰入金は69.1%増の2億9,530万8,000円と、前年度より1億2,068万2,000円増加いたしております。これは佐野土地地区画整理事業基金や学校施設等整備資金積立基金からの繰り入れを行うことによるものでございます。

なお、財源不足額の補てんとしておりました財政調整基金などの繰り入れは当初予算では行っておりません。したがって、財政調整資金残高は17年度末で約6億円となる見込みでございます。

次に、21款の市債でございますけれども、13.7%減の15億3,770万円と、前年度より2億4,450万円減少させております。今年度の主なものといたしましては、通古賀地区整備事業債、史跡地購入事業債のほか、今年度から新たに緑地公有化事業債、地域再生基盤強化事業債など9億4,770万円と、臨時財政対策債で5億9,000万円の借り入れを予定しております。

歳入総額に占めます市債の割合は、前年度の9.6%から1.2ポイント下がって8.4%というふうになっております。

なお、平成18年度末の市債残高は、平成17年度末見込み額より12億円減少いたしまして、226億円程度を見込んでおります。先ほど市長も申しましたように、借金の借り入れを少なくして今後財政の健全化を目指していきたいと、そういうふうを考えております。

資料の4ページから6ページにつきましては自主財源、それから依存財源の構成比、それから市税の状況をグラフで示しております。自主財源の方が53.5%という形で、依存財源より若干多いというのが太宰府市の今の状況でございます。今後のご参照をお願いをしたいと思います。

次に、歳出について説明を申し上げます。

8ページの性質別内訳をごらんいただきたいと思っております。

義務的経費のうち人件費は、共済組合負担金が増えますけれども、定員管理計画に基づきます退職者の不補充などにより、前年度に比べますと4,355万8,000円の減というふうになりました。

扶助費は、これが少し伸びる傾向にございます。少子・高齢化に伴いましての分だと思えますが、まずは生活保護費、障害者医療費、乳幼児医療費の伸びのほか、昨年の児童手当の改正によりまして、市負担の増額などによりまして、2億6,862万4,000円の増というふうになりました。

公債費は9,292万円、3%の増で計上しておりますが、公債費につきましては、今後の見込みでは平成19年度はピークで、次年度以降は減少するというふうに見込んでおります。したがって、人件費、扶助費、公債費の義務的経費の総額では、3億1,798万6,000円の増加というふうになっております。

次に、物件費につきましては1,574万5,000円減少しております。これは小・中学校の校舎耐震診断委託料や後期高齢者医療創設システム委託料などの新たな増加はございますけれども、昨年度の消防車購入費やランチサービス、備品購入費のような大きな需要がなくなったこと、そして経営者会議の中で内部経費の削減を行おうということで、その分が減というふうになっております。

補助費等は政策的な経費が多いということで新体制での判断となりますので、当初予算から除いておりますので、昨年度より3億4,944万7,000円の減というふうにいたしております。

普通建設事業費につきましては、新たに高雄公園の新設事業、それから緑地公有化事業のほか、国庫等の採択を受けております地域再生基盤強化事業の増がありますが、福岡コミュニティ無線設置や美化センターの改修が完了したことによりまして、通古賀地区都市再生整備事業の事業量の減少によりまして、2億109万円減少いたしております。

以上、簡単でございますけれども、歳出については以上でございます。

なお新規事業、政策事業につきましては、先ほど言いましたように、当初予算に計上しておりませんので、6月の定例議会におきまして審議がなされればというふうを考えております。

終わりになりましたが、議会議員の皆さんのご指導とご協力をお願いするとともに、よ

ろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

- 委員長（武藤哲志委員） ただいま総務部長から平成19年度一般会計の予算説明を受けました。説明はこれで終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 議案第30号 平成19年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について

- 委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第2、議案第30号「平成19年度太宰府市国民健康保険事業特別会計予算について」説明を求めます。

健康福祉部長。

- 健康福祉部長（永田克人） 続きまして、国民健康保険事業特別会計予算についてご説明を申し上げます。

予算書の243ページからでございます。

歳入歳出予算総額につきましては63億6,744万8,000円といたしまして、前年度に比べまして7億7,048万4,000円、13.8%の増となっております。

まず、歳入についてでございますが、249ページの事項別明細総括によって説明したいと思います。

歳入の主なものにつきましては、1款の国民健康保険税、これは被保険者の増加、特に退職被保険者等が増加しておりますことから、対前年度比2.9%増の19億8,838万4,000円を計上いたしております。

2款国庫支出金につきましては、一般被保険者の医療費の減少に伴いまして、国庫負担金につきましては減額を見込んでおりますけど、財政調整交付金の増額によりまして、対前年度比0.9%増の14億6,875万1,000円となっております。

3款療養給付費交付金につきましては、退職被保険者等の増加に伴いまして、対前年度比15.3%増の16億6,934万7,000円となっております。

次に、5款共同事業交付金につきましては、昨年10月から実施されております保険財政共同安定化事業交付金の大幅増によりまして、対前年度比4億6,014万7,000円の大幅増の5億6,429万1,000円の計上となっております。

次に、7款繰入金につきましては、法定繰入金といたしまして一般会計より3億7,912万8,000円を計上いたしております。

次に、歳出の250ページでございます。

主なものといたしまして、2款保険給付費でございますが、一般被保険者の医療費は減少しておりますが、退職被保険者等の増加に伴い医療費の増嵩が継続しておりますことから、対前年度比5.9%増の40億870万1,000円の計上となっております。

次に、3款老人保健拠出金につきましては、平成14年10月から老人保健対象者の年齢が75歳に引き上げられまして、本年10月までは対象者の減が見込まれますことから、対前年度比

3.8%減の12億1,934万4,000円を計上いたしております。

4款介護納付金につきましても、介護保険第2号被保険者の減少に伴いまして、対前年度比4.6%減の3億1,815万5,000円の計上となっております。

また、5款共同事業拠出金につきましても、歳入でも申しあげましたように、昨年10月から実施されております保険財政共同安定化事業拠出金の通年計上にありますことから大幅の増となりまして、対前年度比5億9,880万6,000円増の6億7,557万1,000円の計上となっております。

以上が歳入歳出の主なものでございますが、国民健康保険は国民皆保険を支える制度といたしまして住民の健康と医療の確保を図るという基盤的な役割を担っております。しかしながら、この制度は構造的に高齢者や辞職者など増加しておりまして、また高齢化や医療技術の高度化等によりまして医療費は毎年増え続けております。財政運営は依然として厳しい状況となっております。さらには昨年から大幅な医療制度改革が行われておりまして、医療制度はますます複雑化しておりますが、国の動向等を十分に把握しながら、今後の国保事業運営に努めてまいりたいというふうに考えております。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 議案第31号 平成19年度太宰府市老人保健特別会計予算について

○委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第3、議案第31号「平成19年度太宰府市老人保健特別会計予算について」説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（永田克人） 次に、老人保健特別会計予算についてご説明申し上げます。

予算書につきましては277ページからでございます。

まず、歳入歳出予算総額を58億7,733万1,000円、これ対前年度比に対しまして8,125万3,000円、1.4%減にて計上いたしております。

老人保健医療受給者は1月末現在6,261人でございまして、対前年度同月と比較いたしますと258人の減少となっております。これは受給対象年齢を70歳から75歳としたことによる年齢到達者の加入が生じなかったことによるものでございますが、本年10月より年齢到達者の受給者が加入してまいる状況となっております。

それでは、280ページの事項別明細総括の中から歳入のご説明を申し上げます。

まず、1款の支払基金交付金につきましては、前年度に比較いたしまして5.4%、1億7,729万2,000円減の31億2,200万2,000円の計上となっております。

次に、2款の国庫支出金は負担割合の増によりまして、前年度に比較しまして2.9%、5,041万3,000円増の18億1,000円、3款の県支出金につきましては2.9%、1,260万3,000円増の4億5,000万1,000円となっております。

4款の繰入金につきましては、前年度より7%増の5億499万1,000円を一般会計の方から繰り入れをいたしております。医療費に対する公費の負担割合が増えておりますので、前年度よ

り増加ということになっております。

次に、歳出につきましては、2款医療諸費につきまして、前年度をベースといたしまして1.7%、1億166万9,000円減額の58億2,232万円を計上いたしております。ご存じのように、老人医療は平成20年度から新しい制度が発足いたします。既に準備が始まっておりますが、市民の皆様への情報提供なども十分に図りながら適切に運用を進めてまいりたいというように考えております。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 議案第32号 平成19年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について

○委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第4、議案第32号「平成19年度太宰府市介護保険事業特別会計予算について」説明を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（永田克人） 次に、太宰府市介護保険事業特別会計予算についてご説明申し上げます。

予算書につきましては295ページからとなっております。

まず、本市の介護保険の対象者の現状でございますが、本年1月末現在で、65歳以上の第1号被保険者世帯は9,126世帯、被保険者総数につきましては1万2,706人でございます。昨年同月と比較いたしますと357世帯、431人の増となっております。

歳入歳出の総額につきましては33億2,139万1,000円となりまして、前年度より7,186万9,000円減額となりまして、伸び率につきましてはマイナス2.1%となっております。

国庫負担金、支払基金交付金、県支出金及び繰入金につきましては、歳出の保険給付費に見合う負担割合により予算計上をいたしております。

それでは、歳入の主なものにつきまして301ページ、1款第1号被保険者の保険料につきましては、今年度6億8,593万3,000円を計上いたしております。これにつきましては対前年度比0.5%、360万7,000円の減額となっております。

2款の国庫支出金につきましては6億5,985万6,000円を計上いたしております。対前年度比15.6%減の、金額にいたしまして1億2,192万9,000円の減額となっております。

次に、3款支払基金交付金につきましては、40歳から64歳までの第2号被保険者の保険料で、前年度に比べまして2%の2,008万4,000円を減額いたしまして、9億6,044万2,000円の計上となっております。

4款県支出金につきましては、前年度に比べまして18.4%、7,441万1,000円を減額いたしまして、4億7,794万4,000円となっております。

次に、6款繰入金につきましては、前年度より4万円の減額となりまして、5億3,710万9,000円となっております。

次に、歳出につきましては302ページ。



2 款の保険給付費につきまして、前年度に比べまして1.9%、5,927万6,000円の減額となりまして、30億8,127万2,000円の計上となっております。

次に、4 款の地域支援事業費につきましては、対前年度比5.9%、370万6,000円を増額いたしまして、6,644万9,000円となっております。

5 款の公債費につきましては、第1期と第2期に借り入れいたしました財政安定化基金償還元金といたしまして、3,226万2,000円の計上となっております。

以上が平成19年度介護保険特別事業会計予算の主な内容でございますが、平成12年度より始まりました介護保険制度も6年を経過いたしました。昨年大幅な制度改正が行われました。平成18年度は制度改正の初年度ということで、介護給付費については若干余裕を持たせた形で予算計上をいたしておりました。新年度につきましては、平成18年度の実績を十分に踏まえまして、第3期介護保険事業計画に沿った形での予算の計上となっております。

今後におきましても介護サービス利用者の増加、さらなる高齢者の進行が予測される中、本市におきましては介護保険制度に適切に対応しまして、高齢者ができるだけ住みなれた地域で安心して生活できるよう円滑な事業運営に努めてまいりたいというふうに考えております。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 議案第33号 平成19年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について

○委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第5、議案第33号「平成19年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（関岡 勉） 議案第33号「平成19年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

予算書335ページから346ページをご参照ください。

平成19年度の歳入歳出予算につきましては総額859万1,000円で、前年度比30.2%の減となっております。予算総額が減額となりましたのは公債費の償還が28.1%、332万6,000円減少したことに伴い、歳入の住宅新築資金等補助金を昨年比73万9,000円の減額をし、さらには基金からの繰入金227万2,000円を減額しています。また、貸付金に関する償還金を、前年度比63万4,000円減額したことが主な理由であります。

景気回復の兆しが見られてきているものの、地区の生活実態は依然として厳しい状況にあります。貸付償還の向上につきましては特別収納課と連携しながら夜間の家庭訪問などを行い、償還の促進とあわせまして、償還の意識向上に努めてまいります。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます、説明を終わります。

○委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 議案第34号 平成19年度太宰府市公共用地先行取得事業特別会計予算について

○委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第6、議案第34号「平成19年度太宰府市公共用地先行取得事業特別会計予算について」説明を求めます。

建設部長。

○建設部長（富田 譲） ご説明申し上げます。

議案第34号「平成19年度太宰府市公共用地先行取得事業特別会計予算について」ご説明申し上げます。

347ページから352ページまでご参照をお願いいたします。

本事業の歳入歳出総額は、7,940万2,000円でございます。先ほど市長が説明いたしましたように、高雄公園用地先行取得を行うために平成15年12月に本事業の特別会計の条例を制定しまして、平成16年度から平成19年度まで4年間で一般会計の方へ買い戻すところでございます。本年度が最終年度となります。

説明は以上でございます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（武藤哲志委員） 説明が終わりました。

それでは、上下水道の説明を受けますので、資料をお出しいただきたいと思っております。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 議案第35号 平成19年度太宰府市水道事業会計予算について

○委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第7、議案第35号「平成19年度太宰府市水道事業会計予算について」説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（古川泰博） 平成19年度太宰府市水道事業会計予算について、その概要の説明をいたします。

予算書1ページの業務の予定量等につきましては、本会議での市長提案理由の説明と重複いたしますので、4ページの事項別明細書から、その主なものについてご説明をいたします。

表紙は青の分でございます。

予算第3条に定める経営予算の収益的収入及び支出であります。収入総額を前年度比0.8%増の12億4,743万1,000円、支出総額を2.5%減の11億9,422万4,000円といたしております。差し引き5,320万7,000円、税抜き損益収支では4,767万3,000円の純利益を予定いたしております。

1項1目営業収益の根幹を占めます給水収益は、前年度比1,231万2,000円、1.2%増の10億6,643万5,000円を予定いたしております。これは平成18年度決算見込み有収水量伸び率、それから過去5年間の平均伸び率の低い方の数値をもとに1.6%増を見込み、計上をいたしております。収益的収入の財源不足を補うため、平成18年度より予算第4条の資本的収

入から予算組み替えを行いました。

2項2目営業外収益の加入負担金につきましては、1億2,571万6,000円を予定いたしております。

予算書5ページ、1項営業費用は11億435万2,000円で、前年度比2,823万6,000円、2.5%減少しておりますが、その主な要因につきましては篠栗町鳴淵ダムの水融通分、日量900m³の受水が平成18年度で終了することに伴いまして、福岡地区水道企業団への受水費の減により、2目大佐野浄水場原水及び浄水費が2,656万7,000円、5.3%減となるものであります。これに伴い平成19年度から大山ダム完成までの間は、1日最大供給能力1万8,900m³で給水をしてまいります。

9ページの2項営業外費用は6,982万2,000円で、前年度比496万2,000円、6.6%減少しておりますが、主な要因につきましては、1目企業債支払利息の減によるものであります。

次に、10ページ、予算第4条に定める建設予算の資本的収入及び支出につきましては、収入総額は1億4,724万6,000円で、前年度比635万4,000円、4.1%の減となっております。主なものにつきましては、第6次拡張配水管布設事業を対象とした企業債で、平成19年度は1億3,540万円を計上いたしております。

11ページ、支出総額は5億983万1,000円で、前年度比5億1,831万6,000円、50.4%の大幅減となっておりますが、これは主として前年度実施いたしました有価証券への投資5億円を減額したことによるものであります。

なお、平成19年度建設改良事業の主なものは、松川浄水場配水池耐震調査、それから第6次拡張事業配水管新設工事、都府楼団地内配水管布設替工事及び市内各高所配水池監視システム機器の老朽化に伴います更新工事等を予定いたしております。

以上で概要説明を終わりますが、12ページに資金計画、13ページから16ページに給与費明細書、17ページに債務負担行為に関する調書、18ページから21ページに予定損益計算書及び予定貸借対照表をつけております。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第8 議案第36号 平成19年度太宰府市下水道事業会計予算について

○委員長（武藤哲志委員） 次に、日程第8、議案第36号「平成19年度太宰府市下水道事業会計予算について」説明を求めます。

上下水道部長。

○上下水道部長（古川泰博） 平成19年度太宰府市下水道事業会計予算について、その概要をご説明いたします。

予算書1ページの業務の予定量等につきましては、本会議での市長の提案理由説明と重複しますので、4ページの事項別明細書からその主なものについてご説明をいたします。

予算第3条に定めます経営予算の収益的収入及び支出であります。収入総額を前年度比9.7%減の16億9,264万7,000円、支出総額を1.0%減の16億4,385万1,000円といたしております。差し引き4,879万6,000円、税抜き損益収支では5,067万円の純利益を計上いたしております。

1項営業収益の根幹を占めます下水道使用料は、前年度比1,435万4,000円、1.2%増の11億7,174万6,000円を予定いたしております。これは平成18年度決算見込み有収水量伸び率、過去5年間の平均伸び率の低い方の数値をもとに1.5%増を見込み、計上をいたしております。

2項営業外収益の1億9,788万9,000円、32.5%減につきましては、主に一般会計補助金について平成18年度に繰り出し基準が改正されたことにより、一部を資本的収入に組み替えたことによるものでございます。

5ページからの支出につきましては、1項営業費用は10億2,284万6,000円で、前年度比1,698万7,000円、1.7%増加しています。主な要因につきましては、1目管渠費の修繕費、2目配水量の増に伴う流域下水道維持管理負担金及び5目減価償却費の増によるものでございます。

6ページから7ページの、2項営業外費用は6億940万5,000円で、企業債支払利息の減により前年度比3,523万3,000円、5.5%減少いたしております。

次に、8ページから10ページの第4条に定めます建設予算の資本的収入及び支出につきましては、収入総額は9億5,536万4,000円で、前年度比2億3,108万7,000円、31.9%増加しておりますが、これは主として建設企業債及び、さきに述べました繰り出し基準の改正により一般会計補助金の増によるものでございます。

9ページの支出総額は13億7,802万2,000円で、前年度比2,437万5,000円、1.7%減少しておりますが、これは1目公共下水道整備費の減によるものでございます。

10ページの2項企業債償還金につきましては9億3,099万円で、前年度比5,362万2,000円、6.1%増加いたしております。

なお、平成19年度建設改良事業の主なものにつきましては、北谷地区下水道実施設計、坂本及び五条雨水幹線築造工事、水城一丁目汚水管築造工事及び都府楼団地内汚水管更新工事等を予定いたしております。

以上で概要説明を終わりますが、11ページに資本計画、12ページから15ページに給与明細書、16ページに債務負担行為に関する調書、17ページから20ページにつきましては予定損益計算書及び予定貸借対照表をつけておりますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

以上でございます。

○委員長（武藤哲志委員） 説明は終わりました。

今回は、3月19日卒業式の関係がありますので、午後1時から再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（武藤哲志委員） 以上をもちまして本日の予算特別委員会を散会します。
ご苦勞さまでした。

散会 午前11時58分

~~~~~ ○ ~~~~~